

札幌市自立支援協議会  
こども部会 ニュース  
NO.12

第12号（2024年3月）  
発行札幌市自立支援協議会子ども部会  
事務局連絡先 〒004-0007  
厚別区厚別町下野幌49  
（社会福祉法人楡の会）

令和5年度の子ども部会のまとめ

対面での研修会の再開が大きな課題でしたが、9月に「支援力向上セミナー」を80人で、1月に「全体研修会」を100人で開催することが出来ました。参加者同士の自由な対話や、講師との名刺交換など、対面ならではの良さ（臨場感）を改めて実感いたしました。開催にご協力いただいた皆さま、札幌市の担当者様に心から感謝申し上げます。私、個人的には、障がい児を育てているお母さん方の「生のお話」をじっくり聴けたことが強く印象に残っています。このような研修会や臨床の方々の交流など、今後も対面で開催していきたいと思います。

「こどもをまんなかにした」施策がいよいよスタートするわけですが、現状では、増え続ける児童虐待、「いじめ防止対策推進法」が施行された後もなくなる学校内でのいじめ、などなど、子どもを取り巻く状況は、時に悲惨と言っても過言ではありません。子どもに係る方々が、かいなを取り合いながら現状に向き合い、子どもたちの持っている可能性を潰さず、次のステージへと送り出す事がいよいよ大切になってまいりました。

令和6年度も、よろしくお願いいたします。（部会長・斎藤規和）



今年度の活動報告



全体研修会の報告

2024年1月30日（火）に札幌市子ども部会と札幌市児童発達支援センター研修との共催企画として、「札幌市の子どもを取り巻く支援」と題し全体研修会を開催しました。前半にこども家庭庁支援局障害児支援課の鈴木課長補佐に「児童福祉法の改正とインクルージョン推進」についてお話しいただき、後半は母子保健領域、障害児相談領域、児童発達支援領域と各領域から「札幌市の子どもへの支援と連携」についてそれぞれの立場から見てきた課題を踏まえてお話しいただきました。子ども家庭庁として国の施策があり、実際の地域でどのように実践されていくのか、それぞれの視点でお話を伺うことができ、大変勉強になりました。多数のご参加をいただき、ありがとうございました。（二峰）

## 支援力向上セミナー

令和5年度発達支援者支援力向上セミナー（初級コース）は、感染対策にてしばらく休止しておりましたが、今年度から集合対面研修にて再開しました。今年度は、「発達支援」をテーマとして、社会福祉法人麦の子会の金澤俊文氏の講義のほか、保護者の方2名に日頃の子育ての想いをお話ししていただき、その後、グループワークとして、それぞれの事業所で工夫している発達支援について情報共有しました。初級コースとして、発達支援の基礎や具体的支援をわかりやすく理解でき、また保護者の生の声を聴くことで保護者支援の大切さを知るきっかけとなりました。さらに、グループワークを通じて、横のつながりを持てたことや他の事業所の取り組みを知り、自分の支援に活かすためのヒントを得ることができました。研修には多くの方々に参加していただき、ありがとうございました。次年度も、実りある研修を立案します。（河内）

## 各委員からの報告

### 子ども子育て会議の報告

子ども・子育て会議は2回、児童福祉部会は3回、処遇部会は1回開催され、子ども部会から斎藤が出席しました。詳しくは札幌市ホームページ「子ども子育て会議」をご覧ください。フォスタリング機関の設置もあり里親希望者は増加傾向ですが、子ども子育て会議での審議は、どうしても児童相談所の「追認」という印象です。子どもの人権・最善の利益を擁護するためには、より慎重な認定審査が必要と思いました。（斎藤）

### 医療的ケア児検討委員会

「札幌市医療的ケア児支援検討会」は本年度3回の会議を行いました。今年度はこれまで出た課題を整理して、実態を把握する事を中心に議論を進めました。委員の意見から、これまで幼児期・学齢期という大きなくくりでしたが、幼児期でも乳児と幼児では課題が違って来る。学齢期でも低学年と高学年でも違うということで、各委員や札幌市からの情報もいただきました。市立保育園の医ケア児受け入れ枠を増やしたことも、成果として確認できました。今年度からは北海道の担当部局の方にもオブザーバー参加いただく事になり、医ケア児支援について部局・所属を超えた協議の場になるよう進んでいくものと期待しています。

（加藤）

### 社会的養護・札幌市要保護児童対策協議会から

社会的養護関係については、令和5年4月に子ども部会主催で開催いたしました「地域みんなで子どもを育てる」をテーマとした研修会や令和5年度子ども部会全体研修会にて、社会的養護関係施設の方々にご参加いただき、社会的養護のことや子どもの発達について理解を深めました。次年度は、対面形式で社会的養護に関する事例報告やグループワークなどを通じて、皆さまと一緒に社会的養護が必要な児童の生活支援について理解を深めていきたいと考えています。

札幌市要保護児童対策協議会は、毎年、春に全体会が実施され、参加して、意見を提案しました。次年度も、例年通り参加し、意見を提案します。（河内）



## 各区 子ども部会 報告

### 《厚別区子どもチーム》

令和5年10月27日に子どもコーディネーターの活動についての講話と区内を4つの地区に分けてグループワークを行う形式で対面にて開催。60名ほどの参加のなかで、幼稚園保育園やまなびの教室や児童会館といった通所事業所以外の地域の方との関係づくりにもつながった。

### 《西区子ども部会》

令和6年2月16日研修会開催。テーマ「早期療育が必要な子への支援～見立て・つなげる～」  
講師：西区保健センター

### 《手稲区地域部会こどもグループ》

3回シリーズ「不登校」についての学習会を開催



### 《東区子ども部会》

東区ウェルトーク／8月24日：第13回「不登校・ひきこもり支援～自立って何だろう～」  
11月27日：14回「インクルージョンとダイバシティをテーマにしたリレートーク」を開催した

### 《白石区子ども部会》

令和5年12月6日 研修会”共に学ぼう性教育”「生命の安全教育を考える」 開催した

## 事務局からのご報告

- ①「札幌市子ども発達支援ガイドブック（学齢期）」を改訂・発行しました
- ② 部会内学習会で「医ケア児対応の現状報告」を、子ども部会委員で「札幌市医療的ケア児検討委員会」メンバーの、射場さん・真鍋さん・事務局加藤より、お話しいただきました

\*今年度はコロナ感染症が5類扱いになったことを受けて、会場参集にて研修会を実施でき、多くの皆さんと直接お目にかかれたことを嬉しく思います。

～おわび～

子ども部会 n e w s の発行がたいへん遅くなり申し訳ありませんでした！

